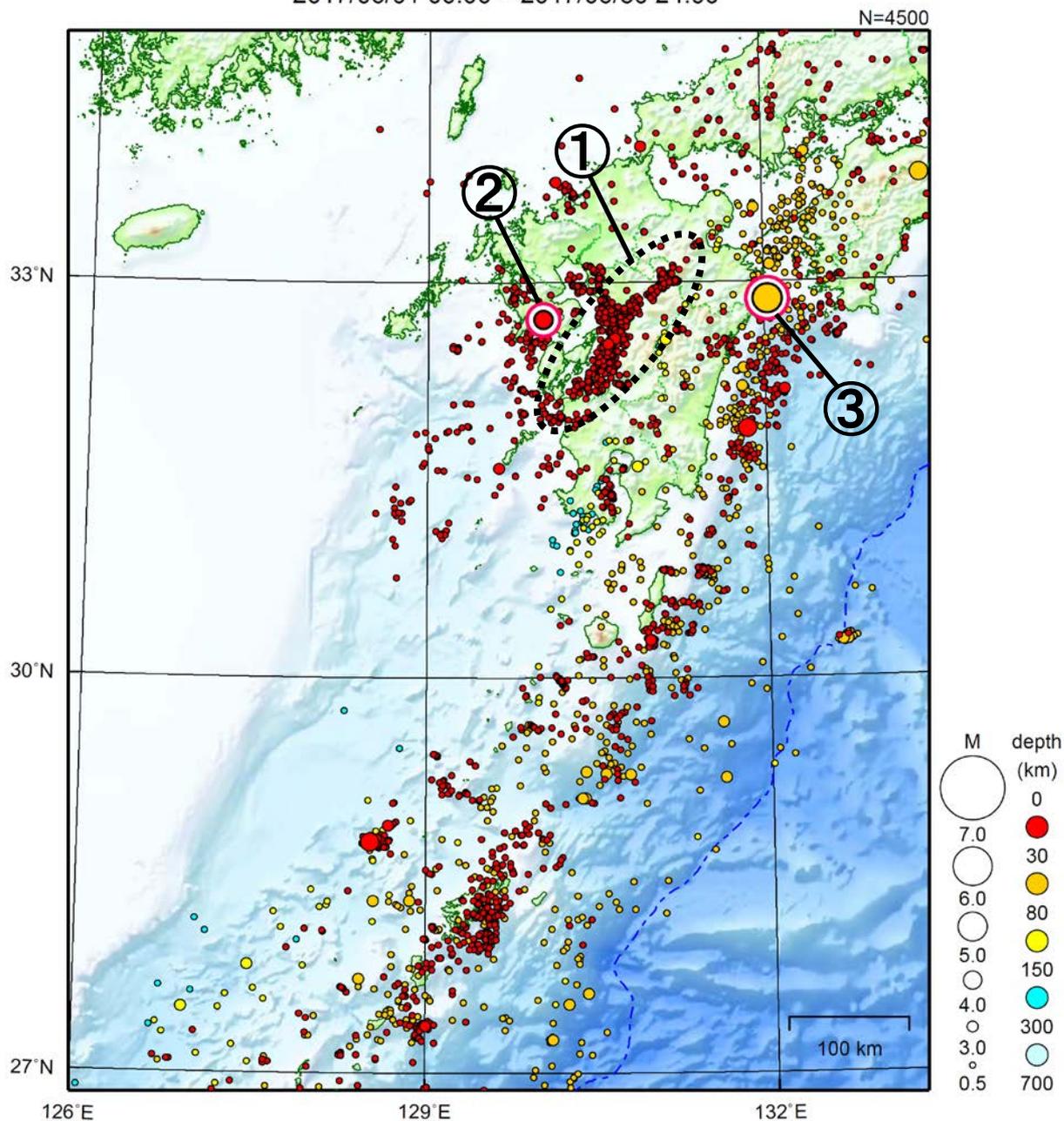


九州地方

2017/06/01 00:00 ~ 2017/06/30 24:00



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

- ① 「平成 28 年(2016 年)熊本地震」の活動域では、今期間に震度 4 以上を観測する地震は発生しなかった。
- ② 6 月 9 日に橘湾の深さ 16km で M4.3 の地震（最大震度 4）が発生した。
- ③ 6 月 20 日に豊後水道の深さ 42km で M5.0 の地震（最大震度 5 強）が発生した。

（上記期間外）

7 月 2 日に熊本県阿蘇地方の深さ 11km で M4.5 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」

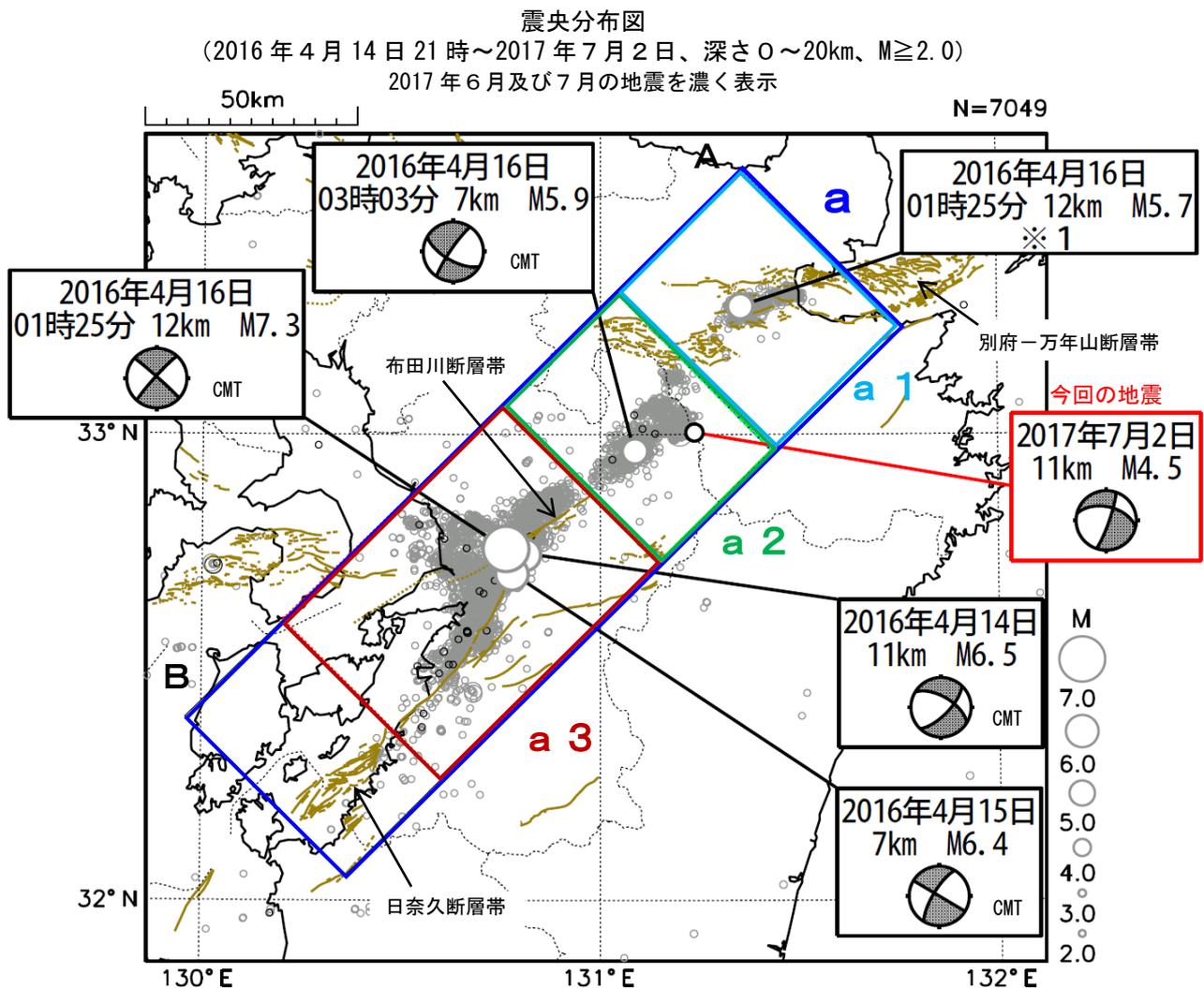
6 月に震度 4 以上を観測する地震は発生しなかった。

7 月 2 日 00 時 58 分に、熊本県阿蘇地方の深さ 11km で M4.5 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。この地震の発震機構は、北西—南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

熊本県熊本地方（領域 a 3）及び阿蘇地方（領域 a 2）における「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも継続している。大分県中部（領域 a 1）の活動は低下した。

6 月 1 日から 7 月 2 日までに震度 1 以上を観測した地震は 12 回（最大震度 5 弱：1 回、最大震度 3：1 回、最大震度 2：3 回、最大震度 1：7 回）発生した。

今回の一連の地震活動により、死者 230 人、負傷者 2,775 人、住家全壊 8,680 棟などの被害が発生した（2017 年 6 月 14 日現在、総務省消防庁による）。

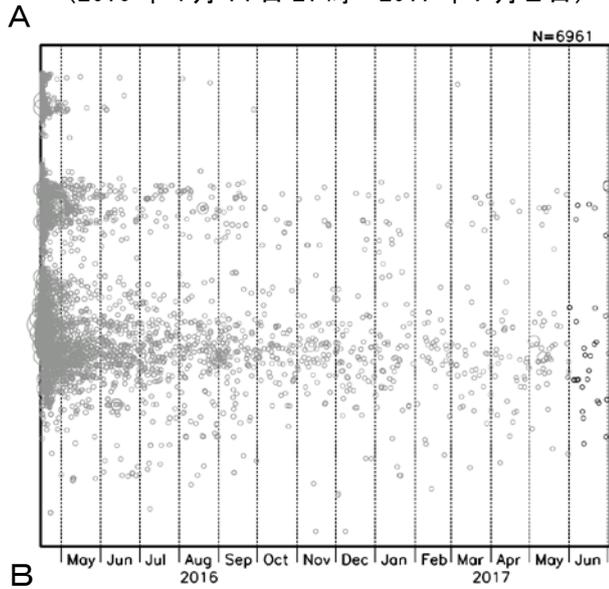


図中の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

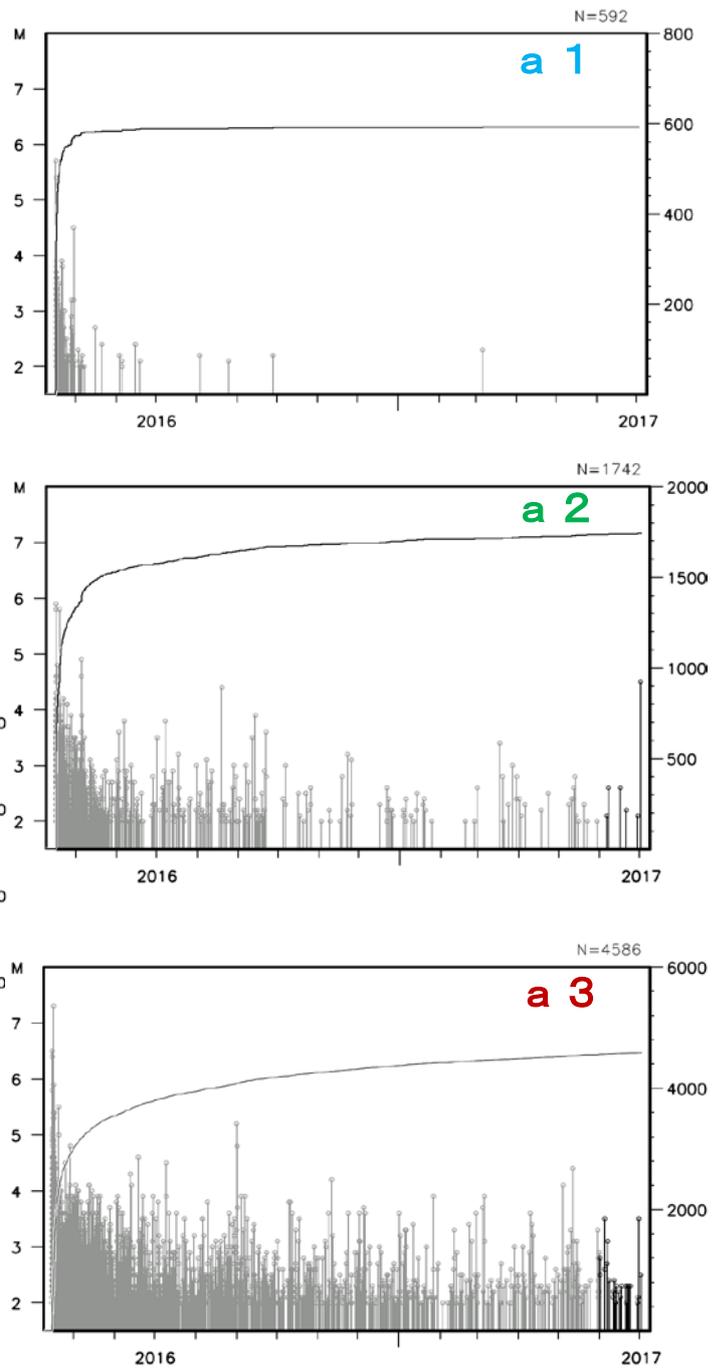
M6.0 以上の地震と各領域で最大規模の地震（6 月以降の地震は震度 4 以上を観測した地震）に吹き出しをつけている。

※1 M7.3 の地震の発生直後に発生したものであり、M の値は参考値。

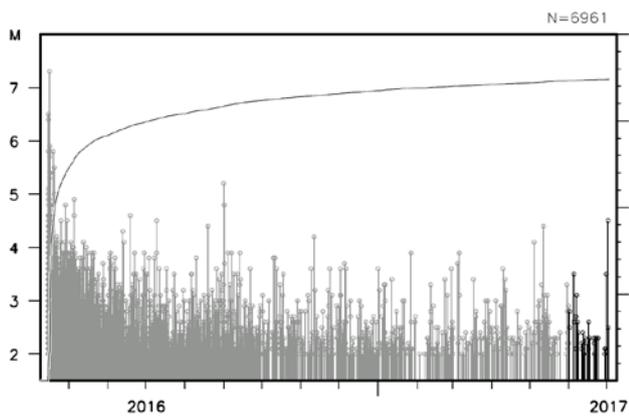
領域 a 内の時空間分布図 (A-B 投影)
(2016 年 4 月 14 日 21 時~2017 年 7 月 2 日)



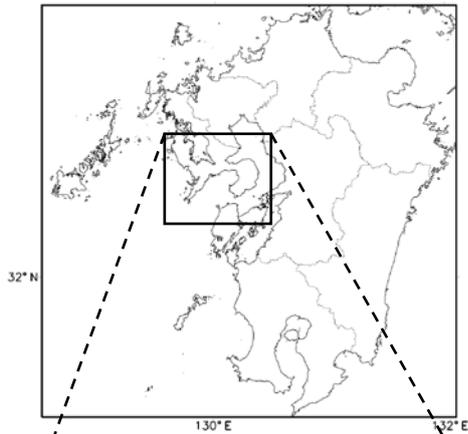
領域 a 1、a 2、a 3 内の M-T 図及び回数積算図
(2016 年 4 月 14 日 21 時~2017 年 7 月 2 日)



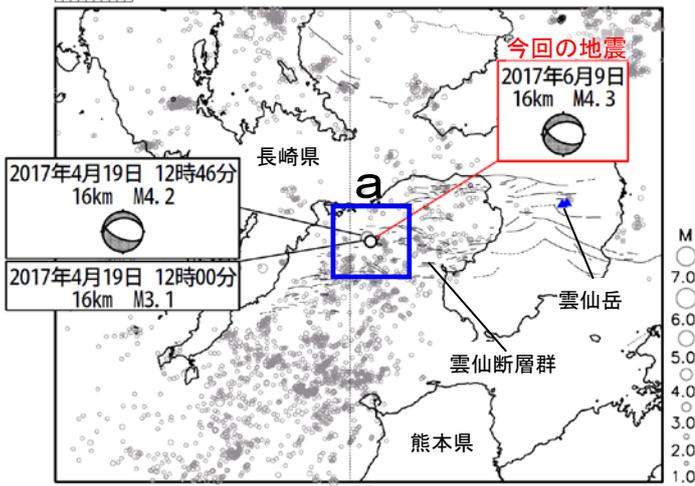
領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



6月9日 橘湾の地震

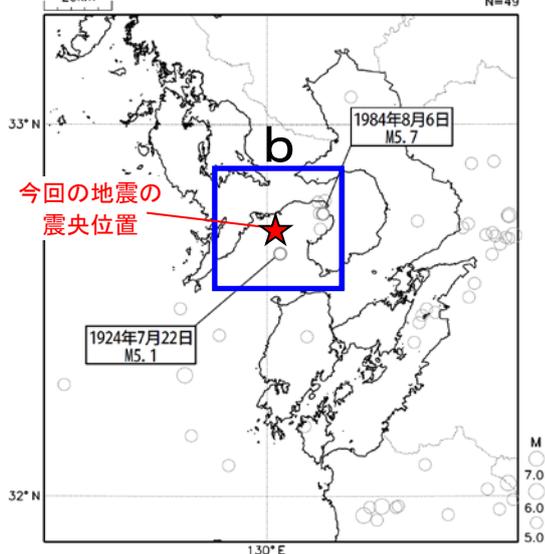


震央分布図
(2000年10月1日～2017年6月30日、
深さ0～20km、 $M \geq 1.0$)
2017年6月の地震を濃く表示
N=3377



図中の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

震央分布図
(1923年1月1日～2017年6月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
N=49

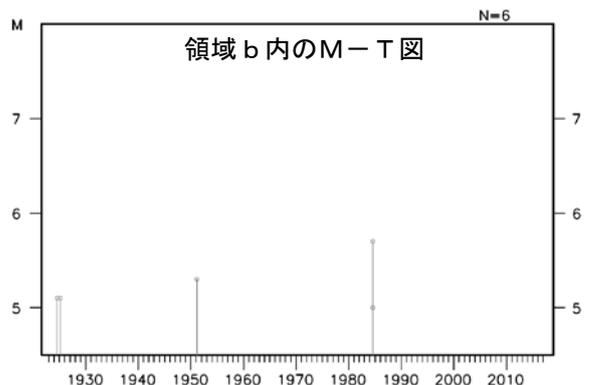
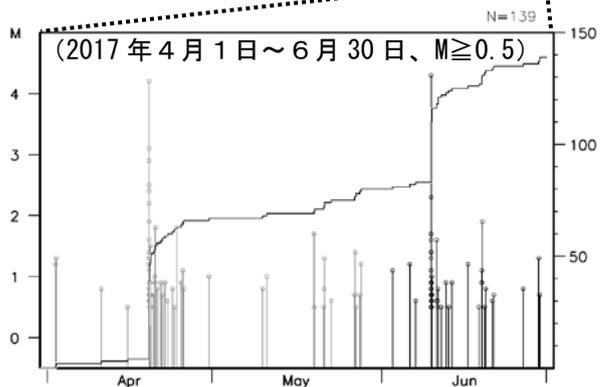
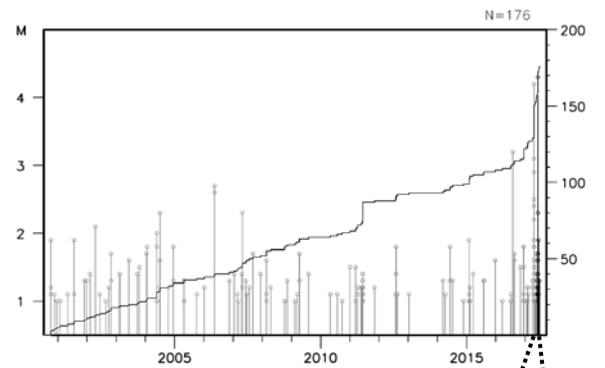


2017年6月9日23時36分に橘湾の深さ16kmでM4.3の地震(最大震度4)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は南北方向に張力軸を持つ正断層型である。

2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域a)は地震活動が比較的活発な領域で、M2.0以上の地震が時々発生していた。2017年4月19日には、M4.2とM3.1の地震(いずれも最大震度3)が発生するなどややまとまった地震活動がみられた。

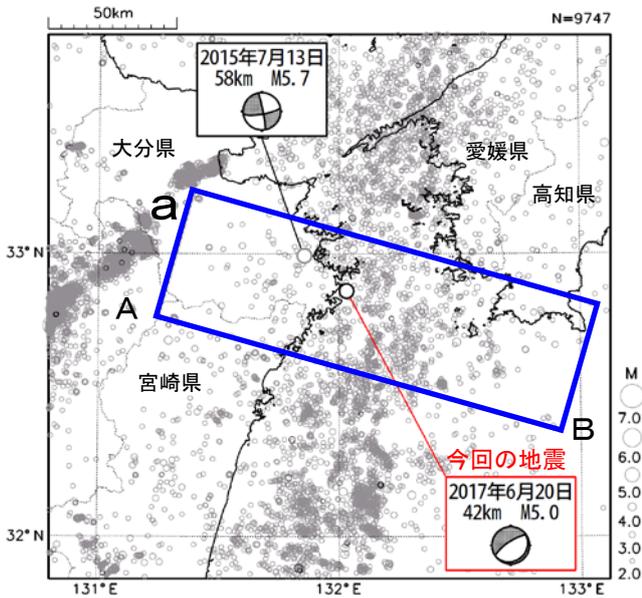
1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)ではM5.0以上の地震が6回発生している。1984年8月6日には、M5.7の地震を最大として地震活動が活発となった。この地震活動により、小浜町(現在は雲仙市)で建物一部破損53棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図



6月20日 豊後水道の地震

震央分布図
 (1997年10月1日～2017年6月30日、
 深さ0～90km、M≥2.0)
 2017年6月の地震を濃く表示

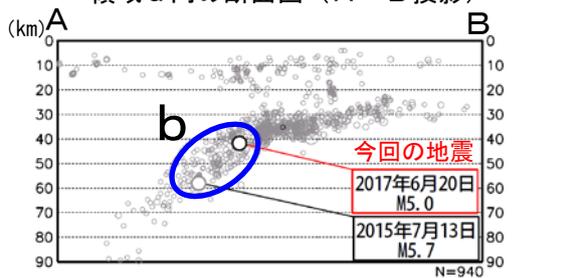


2017年6月20日23時27分に豊後水道の深さ42kmでM5.0の地震 (最大震度5強) が発生した。この地震は、発震機構がフィリピン海プレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

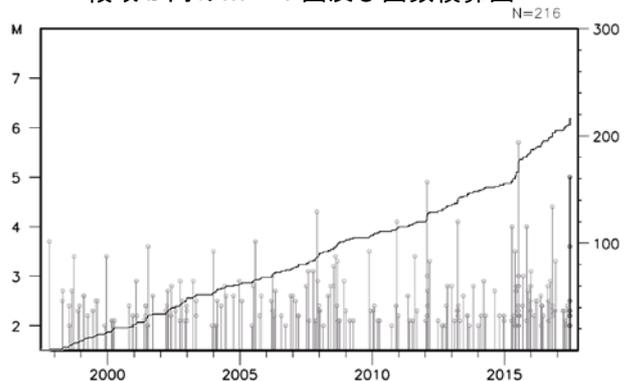
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) は、M4.0以上の地震が時々発生している。2015年7月13日に発生したM5.7の地震 (最大震度5強) では、負傷者3人、住家一部破損3棟の被害が生じた (総務省消防庁による)。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震が時々発生している。「1968年日向灘地震」 (M7.5、最大震度5) では、負傷者57人、住家被害7,423棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。また、大分県蒲江で240cm (最大全振幅) の津波を観測した (「日本被害津波総覧」による)。

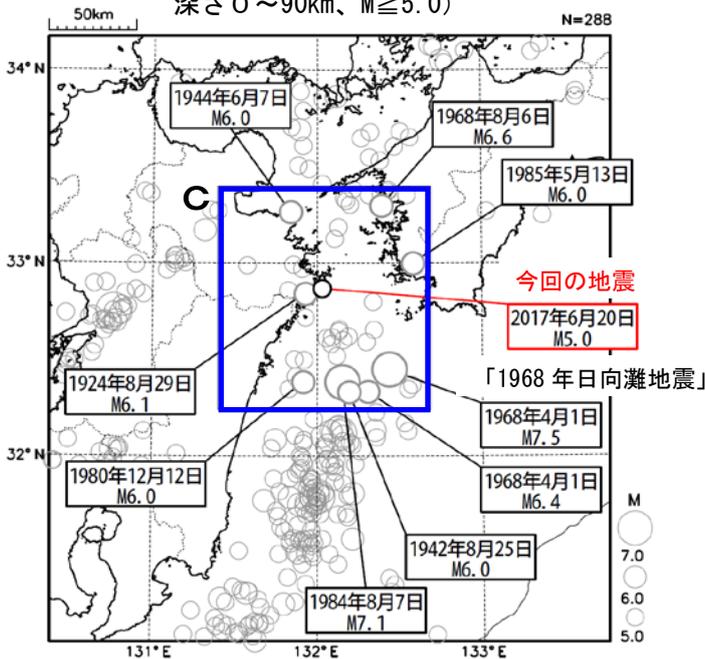
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
 (1923年1月1日～2017年6月30日、
 深さ0～90km、M≥5.0)



領域c内のM-T図

